

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 1月 20日

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名 デイサービスセンターまりん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		適切なスペースを確保して指導訓練室を設定しています。	これからも適切なスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	8		適切な職員配置をしています。	職員配置基準に沿って職員配置をしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		バリアフリーになっています。ご利用者様にとってわかりやすい構造になっています。	ご利用者様にとってわかりやすく安全に過ごしていただける環境づくりを心掛けます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		生活空間は常に清潔を保っており、活動しやすい空間となっています。	ご利用者様が活動しやすい清潔な空間づくりを心掛けます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		日々のミーティングでの申し送りを密に行っている。	日々のミーティングでの内容を職員で共有し業務改善に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		年に一度アンケートを実施して意向を伺い改善へとつなげています。	これからも定期的なアンケートの実施を行い業務改善につなげていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	アンケートの結果等について会報などを通して公表しています。	自己評価アンケート等について会報やホームページ等で公表しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	今のところ実施していません。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		毎月社内研修を実施して職員の資質の向上に努めています。	これからも月に一度の社内研修を実施していきます。外部研修にも積極的に参加したいと考えています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		保護者様と面談を行いお子様の様子について伺った上で個別支援計画を作成しています。	今まで通りアセスメントを実施し個別支援計画に反映します。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		事業所で作り上げたアセスメントツールを使用しています。	定期的に見直しして適切なアセスメントにつなげます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		それぞれのご利用者様の発達に合わせた支援内容を個別支援計画の中で設定しています。	児童発達支援ガイドラインで示される内容に沿って具体的な支援内容を設定していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		計画の内容を職員間で共有し支援させていただいています。	今まで通り個別支援計画に沿って支援させていただきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	ミーティングを活用してプログラムについて検討しています。	これからも様々なプログラムをチームで考えていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		外部研修で学んだ内容やご利用者様が興味を示される内容で工夫しています。	ご利用者様の年齢や興味を示される内容のプログラムを考えています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		計画作成にあたって職員間で話し合い内容を検討しています。	個別活動と集団活動の区別をつけて個別支援計画作りをおこなっています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日のミーティングを活用して話し合い確認をしています。	これからも毎日のミーティングでの確認をつづけていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	その日の状況や反省点などについて振り返る時間をもっています。	それぞれの職員の気づきを話し合い次につなげていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		支援記録票や業務日誌等で正しい記録をしています。	支援記録や業務日記作成により支援の検証、改善につなげていきます。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		半年に一度モニタリングを行い保護者の方の話をもとに見直しについて判断しています。	今まで通り半年に一度のモニタリングで個別支援計画の見直しについて検討していきます。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には管理者、自発管が参加しています。	今まで通りに実施していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		機会があれば話し合いなどに参加して連携しています。	これからも関係機関と連携し支援へとつなげていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	1	現在はなし・現在医療ケアが必要な利用者はいない	ご利用者様の状況に応じて関係機関と連携した支援をさせていただきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2	現在はなし・現在医療ケアが必要な利用者はいない	ご利用者様の状況に応じて主治医や協力医療機関等との連絡体制を確保していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		機会があれば話し合いなどに参加しています。	機会を作って情報共有や相互理解を図りたいと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		学校との話し合いの場をもっています。	必要に応じて話し合いの場をもち支援内容等の情報共有と相互理解につなげていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		外部研修に参加しています。また、機会があれば話し合いなどに参加しています。	外部の機関と連携し話し合いや研修に積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	現在は交流していません。	少しずつ交流できる機会を作りたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6	機会があれば参加しています。	機会を作って積極的に参加していきたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		支援記録や送迎時の話などで様子をお伝えしています。メールや電話でもお伝えしたりお聞きしたりしています。	今まで通りご利用者様の様子を保護者の方にお伝えしていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	7	1	ペアレントトレーニングの研修を受けた職員が保護者の方と話す機会をもっています。	ペアレントトレーニングの研修の内容をふまえて支援させていただきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に詳しく説明させていただいています。	今まで通りに行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		児童発達支援ガイドラインについての説明をした上で個別支援計画を示して内容を伝え同意をいただいています。	今まで通りに行っていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		モニタリングや送迎時などに相談を伺い支援させていただいています。	保護者の方が相談しやすい環境づくりをしたいと考えています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	感謝の会etcで交流の機会を持っている	これからも保護者の方々が交流できる機会を作りたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		ご利用者様や保護者の方からの相談申し入れについてはできる限り迅速に対応しています。	相談しやすい環境作りに努め、今まで通りに行っていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		年に3回会報を発行しています。	今まで通りに会報を発行します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		PCの管理や書類の管理など注意しています。	今まで通り十分注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		それぞれのご利用者様や保護者の方に伝わるように工夫しています。	今までどおり十分注意していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	以前は行っていたこれからも行いたいと企画している。	地域住民の方に参加して頂ける行事等の企画を進める予定です。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作っています。	各マニュアルに基づいて定期的に訓練しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		月に一度の訓練を実施しています。	今まで通り実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		アセスメント、モニタリング時に確認しています。	今まで通り実施していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		食物アレルギーの方については医師の指示書に従って対応しています。	今まで通り対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハットは全職員で共有しています。	全職員で事例を共有し安全な支援につなげていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止委員会、マニュアルを作成し研修を行っています。	今まで通り実施していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		社内に「身体拘束適正化委員会」を設置し、組織的に決定しています。	身体拘束防止について職員で情報を共有しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 1月 20日

公表: 令和 4年 3月 25日

事業所名 デイサービスセンターまりん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		適切なスペースを確保して指導訓練室を設定します。	これからも適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	8		適切な職員配置をしています。	職員配置基準に沿って職員配置をしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		バリアフリーになっています。ご利用者様にとってわかりやすい構造になっています。	ご利用者様にとってわかりやすく安全に過ごして頂ける空間をつくっていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		日々のミーティングでの申し送りを密に行っている。	日々のミーティングでの内容を職員で共有し業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		年に一度アンケートを実施して意向を伺い改善へとつなげています。	これからも定期的なアンケートの実施を行い業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		アンケートの結果等について会報などを通して公表し	自己評価アンケート等について会報やホームページ等で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	今のところ実施していません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		毎月研修を実施して職員の資質の向上に努めています。	これからも月に一度の社内研修を実施していきます。外部研修にも積極的に参加したいと考えています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		保護者様と面談を行いお子様の様子について伺った上で個別支援計画を作成しています。	今まで通りアセスメントを実施し個別支援計画に反映させていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		事業所で作り上げたアセスメントツールを使用しています。	定期的に内容を見直して適切なアセスメントにつなげます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		ミーティングを活用してプログラムについて検討しています。	これからも様々なプログラムをチームで考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		外部研修で学んだ内容やご利用者様が興味を示される内容で工夫しています。	ご利用者様の年齢や興味を示される内容のプログラムを考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		定期的にミーティングを実施して課題を設定し支援している。	これからもミーティングををして課題をきめ細やかに設定し支援していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		計画作成にあたって職員間で話し合い内容を検討しています。	個別活動と集団活動の区別をつけて個別支援計画作りをおこなっています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日のミーティングを活用して話し合い確認をしています。	これからも毎日のミーティングでの確認をつづけていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	その日の状況や反省点などについて振り返る時間をもっています。	それぞれの職員の気付きを話し合い次につなげていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		支援記録票や業務日誌等で正しい記録をしています。	支援記録や業務日記作成により支援の検証、改善につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		半年に一度モニタリングを行い保護者の方の話をもとに見直しについて判断しています。	今まで通り半年に一度のモニタリングで個別支援計画の見直しについて検討していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8		それぞれのご利用者様の発達に合わせた支援内容を個別支援計画の中で設定しています。	放課後等デイサービスガイドラインで示される内容に沿って具体的な支援内容を設定していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には管理者、自発管が参加しています。	今まで通りに実施していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	機会があれば話し合いなどに参加しています。	機会を作って情報共有や相互理解を図りたいと考えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	連絡体制を整えています。	ご利用者様の状況に応じて主治医や協力医療機関等との連絡体制を確保していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	機会があれば話し合いなどに参加しています。	機会を作って情報共有や相互理解を図りたいと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		学校との話し合いの場を持っています。	必要に応じて話し合いの場をもち支援内容等の情報共有と相互理解につなげていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		外部研修に参加しています。また、機会があれば話し合いなどに参加して	外部の機関と連携し話し合いや研修に積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	現在は交流していません。	少しずつ交流できる機会を作っていきたく考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	2	機会があれば参加しています。	機会を作って積極的に参加していきたく考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		支援記録や送迎時の話などで様子をお伝えしています。メールや電話でもお伝えしたりお聞きしたりしています。	今まで通りご利用者様の様子を保護者の方にお伝えしていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8		ペアレントトレーニングの研修を受けた職員が保護者の方と話す機会をもっています。	ペアレントトレーニングの研修の内容をふまえて支援させていただきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に詳しく説明させていただいています。	今まで通りに行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		モニタリングや送迎時などに相談を伺い支援させていただいています。	保護者の方が相談しやすい環境づくりをしていきたいと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3	感謝の会etcで交流の機会を持っています。	これからも保護者の方々が交流できる機会を作りたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		ご利用者様や保護者の方からの苦情については迅速かつ適切に対応しています。	今まで通りに行って行きます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		年に3回会報を発行しています。	今まで通りに会報を発行します。
	35	個人情報に十分注意している	8		PCの管理や書類の管理など注意しています。	今まで通り十分注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		それぞれのご利用者様や保護者の方に伝わるように	今までどおり十分注意していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	以前は行っていたこれからも行いたいと企画している	地域住民の方に参加して頂ける行事等の企画を進める予定です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作っています。	各マニュアルに基づいて定期的に訓練しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	月に一度の訓練を実施しています。	今まで通り実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	虐待防止委員会、マニュアルを作成し研修を行っています。	今まで通り実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	社内に「身体拘束適正化委員会」を設置し、組織的に決定しています。	身体拘束防止について職員で情報を共有しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	食物アレルギーの方については医師の指示書に従って対応しています。	今まで通り対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	ヒヤリハットは全職員で共有しています。	全職員で事例を共有し安全な支援につなげていきます。